

学校関係者評価書

学校名 鳥栖市立田代小学校

1 学校関係者評価実施状況

- (1) 学校関係者評価実施日 令和元年12月13日(金)
- (2) 評価者 学校評議員5名
- (3) 資料(評価の参考とした資料) 学校評価集計結果、学校だより
授業参観、地域での様子

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・学校からの情報発信が密に行われることで、地域の各種団体(区長会、民生委員会、老人会)の学校・児童に対する関心も高い。様々な集会でも話題になることが多く、学校と地域との連携がよく取れていると思う。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・日頃から、職員全員が問題点を共有し、誠意をもって迅速に対応していることで、保護者との信頼関係が築かれていると思われる。
- ・何か問題があれば、すぐに対応して、保護者(家庭)とよく話し合いの場を持たれているということで、大変望ましいことだと思う。

③改善方策の適切さ

- ・下半期の学校アンケートの結果では、保護者の学校の運営に対する評価も、上半期に比べて全体的に上昇してきていると感じる。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・「学力」「心」「安全」「健康」等、幅広く且つきめ細やかな指導が行き届いており十分に評価できる。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・学級通信により学校の様子が保護者にもよく伝わっているように感じる。
- ・授業参観の時、先生方の児童に対する理解度の向上に向けた一生懸命さを強く感じる事ができた。

③改善方策の適切さ

- ・様々なカリキュラム等々、授業以外の部分での仕事など、大変なところに先生方も努力をなされているところがよく見受けられた。子どもたちが「楽しいわかる授業」となるように今後とも取り組んでいただきたい。
- ・今年度の成果と課題を踏まえ、少しずつ前へ進んで下さい。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・とても気持ちよく学校訪問することができて、日頃からの学校関係者の皆様の努力に感謝します。
- ・ありがとう集会では、児童が、日頃の感謝の意を地域の皆さんにきちんと言葉で伝えていた。「心の教育」の一端を感じた。
- ・中原特別支援学校と共存しながら、子ども達には、共に学び、成長していく姿が見られる。地域で子どもを育てていくということを再認識しながら、子ども達を見守っていききたい。